

平成21年4月教育委員会会議の要旨

議案

議案第1号『山口県教育委員会表彰規則による表彰について（報告承認）』

【概要】

下松市立笠戸小学校長 ^{さいごう みのる}西郷 稔 及び萩市立明木小学校教諭 ^{はやし さきこ}林 咲子の退職に伴い、教育長が臨時に代理して永年精勤として表彰したことを報告し、承認された。

議案第2号『平成21年度山口県教科用図書選定審議会に対する諮問について』

【概要】

標記の審議会に対し、平成21年度の義務教育書学校における教科用図書選定に関する採択基準、参考資料を諮問することについて審議され、承認された。

議案第3号『山口県スポーツ振興審議会委員の任免について』

【概要】

標記の審議会委員について、4月異動に伴う下記の委員の任免について審議され、承認された。

記

- 1 少年スポーツの部
旧 高橋 徹 → 新 田邊 克己 （5月1日付け）
- 2 行政の部
旧 福田 徳郎 → 新 吉田 師郎 （5月1日付け）

報告事項

◆『平成21年度全国学力・学習状況調査の概要』について、報告された。

【概要】

4月21日（火）に実施された平成21年度全国学力・学習状況調査について報告したもの。

《主な内容》

- 調査対象児童生徒数は小中学校（小学6年生、中学3年生）の約26,000人
- 実施教科は、国語及び算数・数学
- 本年度の特徴として、他の強化との連携を図った問題や日常生活を取り上げた問題が多くみられた。
- 今年9月頃、文部科学省より結果が公表される予定

◆『平成21年3月新規高等学校卒業生求人、求職状況等』について、報告された。

【概要】

平成21年3月末時点の新規高等学校卒業生に係る求人・求職状況を山口労働局のデータから分析・報告したもの。

《主な内容》

- 求人数は、去年同期と比べ1,303人減の9,624人、就職希望者は149人減の3,374人
- 今年度は、高校生を取り巻く雇用情勢がより一層厳しさを増している。
- 就職内定率は、去年同期と比べ1.1ポイント下落し、98.2%
- 内定者数は、3,313人（県内：2,644人、県外：669人）
- 未内定者数は、去年同期と比べ35人増加し、61人
→平成17年度末と同等の数値

《今後の取組》

- 生徒や保護者に対する職業選択の相談活動
- 県内就職緊急支援員（8名）の新たな配置
- 生徒・保護者を対象とした就職ガイダンスの開催

【質疑】

質問) 現在の就職未内定者の数は、3月末より改善しているのか。

回答) 就職未内定者に対する就職活動も進めているので、人数が減っていることは十分に予想される。

◆『平成21年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査得点状況』について、報告された。

【概要】

平成21年度入学者選抜実施状況の概要と、平成21年3月10日（火）に実施された標記の学力検査の結果について報告したもの。

《主な内容》

- 実施教科：国語、社会、数学、理科及び英語
実施時間：各教科とも50分
配点：各教科50点満点、計250点満点
- 「得点合計」の平均点は139.2点（最高点238点）
- 各教科別の平均点 国語：26.0点、社会：28.0点、数学：29.8点、
理科：28.2点、英語：27.2点

《結果の総評》

- 基礎的・基本的な学習の成果は平素の学習の成果がよく表れていたが、基礎的・基本的な事項を活用し、筋道を立てて考え、課題を解決し表現する力を見る問題については、さらに努力が必要である。
- 学習に対する興味・関心や有用感を持つとともに、知識・技能を活用して課題を

解決し、表現する力を身に付けるよう、学習内容と生活場面・実社会とのつながりを考えながら学習することが大切である。

【質疑】

質問) 結果が分析されたものを、今後の学習指導に向け、各中学校へ配布されるのか。

回答) 今年から各中学校に配布している。

質問) 各中学校からは何か反応があるか。

回答) 既に中学校から意見が出ていて、また、今後も意見が出てくると考えられ、取組に反映しているところである。

質問) 取組が段々と良くなることが期待される中で、一歩進んだ議論や手段は検討されているか。

回答) いま意見をいただいたので、義務教育課とともに取り組んでいきたい。

協議事項

『県立高校の再編整備』について、協議を行った。

【概要】

昨年7月策定の県立高校再編整備計画に基づき、田布施農業高校と田布施工業高校の再編統合について、委員と協議を行った。

《主な内容》

- 1 新高校における学校づくりの方向性
テーマ:「ものづくり」～農産物の生産と工業製品の製造～
- 2 設置予定学科
農業系学科と工業系学科
- 3 設置場所
現在の田布施農業高校の敷地(今後、工業実習棟を整備予定)
- 4 開校年度
平成22年4月予定
- 5 移行形態
平成23年度までは新高校と田布施農業高校、田布施工業高校の3校併置
- 6 教育の特色
 - ①産業社会を担う人材育成のための幅広い教育の展開
 - ②専門分野の確かな技術・技能習得のための教育の展開
 - ③地域との連携による体験を重視した教育の展開
 - ④活力ある部活動の展開

【質疑】

質問) 再編統合を検討しているグループに、対象の学校の先生は入っているのか。

回答) 該当の学校長等を含めて県教委の方で検討している。

質問) 工業実習棟が竣工するまで、どのくらい田布施工業高校に通うことになるのか。

- 回答) 平成24年度から新実習棟で授業ができればと考えている。
- 質問) 田布施農業高校と田布施工業高校はどのくらい離れているのか。
- 回答) おおよそ1.5キロメートル離れている。
- 質問) この再編統合により、学科の総枠は減るのか。
- 回答) 学科については今後検討していきたい。